

令和

6

年度 第

1 学年

作業学習（窯業科）

年間指導計画

●黄色いセルに入力可能です

● はブルダウンバーから選択します。

作成担当者名 教諭 内田 義文

使用教科図書 (学校教育法附則第9条 の規定による)		使用 副教材	
----------------------------------	--	-----------	--

目標	・窯業の作業を通じて、働くうえで必要となる基礎的・基本的な知識・技能を理解することができる。 ・協働することを通じて働き方を考えとともに、望ましいコミュニケーションの方法を探究することができる。 ・学習全体をとおして、働くことの喜びや大変さを実感し、将来の進路選択・実現に向けた意欲をもつことができる。
----	---

月	単元題材	指導 期間	単元 担当	目標	主な学習内容	指導内容表
4 ・ 5	作業学習の基礎		内田 義文	技知 能識	・作業学習にあたって必要最低限の知識・技能を理解することができる。	・課題意識1、3～6、9、12 ・知識・理解16、20、25～27、29～32 ・処理数43、44、46 ・時間時刻48、49 ・コミュニケーション52～59、62～65、67 ・忍耐力73、76
				思判 表	・質問や相談をしながら、覚え方を工夫することができる。	
				態度	・作業学習に対する興味関心を持ち、授業に参加することができる。	
6 ・ 7	窯業の基礎 ～板づくり		内田 義文	技知 能識	・板づくりによる皿の製作に必要な知識・技能を理解することができる。	・課題意識1、3～6、9、12 ・知識・理解16、20、25～27、29～32、36、37 ・処理数40、41、43、44、46 ・時間時刻48、49 ・コミュニケーション52～59、62～65、67 ・忍耐力73、76
				思判 表	・目標をもち、課題を理解しながら改善の工夫を重ねることができる。	
				態度	・商品になることを意識し、丁寧に取り組むことができる。	
7 ～ 12	学校祭の販売に向けた準備		内田 義文	技知 能識	・製作方法や販売の仕方を理解し、取り組むことができる。	・課題意識1、3～6、9、12 ・知識・理解16、20、25～27、29～32、36、37 ・処理数40、41、43、44、46 ・時間時刻48、49 ・コミュニケーション52～59、62～65、67 ・忍耐力73、76
				思判 表	・目標をもち、課題を理解しながら改善の工夫を重ねることができる。	
				態度	・商品になることを意識し、丁寧に取り組むことができる。	
1 ～ 3	新しい技法 ～板づくりによるカップ類の製作、様々な軸がけの方法		内田 義文	技知 能識	・新しい技法を用いた皿の製作に必要な知識・技能を理解することができる。	・課題意識1、3～6、9、12 ・知識・理解16、20、25～27、29～32、36、37 ・処理数40、41、43、44、46 ・時間時刻48、49 ・コミュニケーション52～59、62～65、67 ・忍耐力73、76
				思判 表	・新たな目標をもち、課題改善に向けた工夫を続けることができる。	
				態度	・次年度の商品になる可能性を意識し、集中して取り組むことができる。	
通 年	受注生産 返礼品生産 コラボ商品生産		内田 義文	技知 能識	・製品の規格を理解し、正確に生産することができる。	・課題意識1、3～6、9、12 ・知識・理解16、20、25～27、29～32、36、37 ・処理数40、41、43、44、46 ・時間時刻48、49 ・コミュニケーション52～59、62～65、67 ・忍耐力73、76
				思判 表	・生産効率を向上させるための工夫をすることができる。	
				態度	・納品先のことを意識し、丁寧に取り組むことができる。	

令和 6 年度

1 学年

作業学習（窯業科）

シラバス

年間目標		・窯業の作業を通じて、働くうえで必要となる基礎的・基本的な知識・技能を理解することができる。 ・協働することを通じて働き方を考えるとともに、望ましいコミュニケーションの方法を探究することができる。		
	単元題材	目標		学習内容
4 ・ 5	作業学習の基礎	知識・技能	・作業学習にあたって必要最低限の知識・技能を理解することができる。	・作業学習とは何か ・身だしなみ、道具、準備、片付け ・清掃の仕方ほか学習のルール ・粘土に親しむ（手びねりの皿） ・皿ができてあがるまでの流れ ・振り返り
		思考力・判断力・表現力等	・質問や相談をしながら、覚え方を工夫することができる。	
		学びに向かう力、人間性	・作業学習に対する興味関心をもち、授業に参加することができる。	
6 ・ 7	窯業の基礎 ～板づくり	知識・技能	・板づくりによる皿の製作に必要な知識・技能を理解することができる。	・板づくりの技法 ・丸小皿の製作 ・丸小皿より高難易度の皿の製作 ・やすりがけと釉がけの方法 ・振り返り
		思考力・判断力・表現力等	・目標をもち、課題を理解しながら改善の工夫を重ねることができる。	
		学びに向かう力、人間性	・商品になることを意識し、丁寧に取り組むことができる。	
7 ～ 12	学校祭の販売に向けた準備	知識・技能	・製作方法や販売の仕方を理解し、取り組むことができる。	・陶器小物の製作 ・板づくりによる様々な皿の製作 ・役割を分担した仕事の仕方 ・販売の準備（製品企画会議、接客、レジ、広告、表示、レイアウト等） ・振り返り
		思考力・判断力・表現力等	・目標をもち、課題を理解しながら改善の工夫を重ねることができる。	
		学びに向かう力、人間性	・商品になることを意識し、丁寧に取り組むことができる。	
1 ～ 3	新しい技法 ～板づくりによるカップ類の製作、 様々な釉がけの方法	知識・技能	・新しい技法を用いた皿の製作に必要な知識・技能を理解することができる。	・板づくりの技法(立体物) ・様々な釉がけ（スズがけ以外） ・様々な立体製品の製作 ・新たな製品の開発 ・振り返り
		思考力・判断力・表現力等	・新たな目標をもち、課題改善に向けた工夫を続けることができる。	
		学びに向かう力、人間性	・次年度の商品になる可能性を意識し、集中して取り組むことができる。	
通 年	受注生産 返礼品生産 コラボ商品生産	知識・技能	・製品の規格を理解し、正確に生産することができる。	・受注、返礼品（ふるさと納税）、コラボ商品（他の学科製品と合わせた商品販売）の仕組み ・経済、流通の仕組みの基礎 ・各単元で学んだ知識・技能を生かした製品づくり ・各単元で学んだことを生かした協働の仕方
		思考力・判断力・表現力等	・生産効率を向上させるための工夫をすることができる。	
		学びに向かう力、人間性	・納品先のことを意識し、丁寧に取り組むことができる。	